

血液検査学演習

単位数：1単位(15時間)

責任者：専任教員
学年・学期：第3学年・前期／後期

◆一般目標(GIO)

本演習は臨床血液学を対象とする。臨床検査技師国家試験出題基準に沿って学習し、臨床検査技師として医療の場において、血液検査の業務を実践できる知識を修得することを目的とする。

◆到達目標(SBOs)

1. 血液の基礎：A.血液の成分と性状, B.血液の機能, C.血液の産生と崩壊
2. 血球：A.赤血球, B.白血球, C.血小板
3. 止血機構：A.血管, B.血小板, C.止血
4. 凝固・線溶系：A.凝固, B.線溶, C.分子マーカー
5. 血球に関する検査：A.自動血球計数器法, B.網赤血球・血小板・好酸球数, C.赤血球沈降速度, D.赤血球抵抗
6. 形態に関する検査：A.塗抹標本の作製法, B.普通・特殊染色, C.血液像観察, D.血液細胞抗原検査
7. 血小板、凝固・線溶系検査：A.血小板機能検査, B.凝固・線溶の検査, C.凝固・線溶阻止物質の検査
8. 血液検査結果の評価：A.赤血球系疾患, B.白血球系疾患, C.造血臓器の疾患, D.血小板の異常, E.凝固線溶因子の異常, F.血管の異常
9. 染色体の基礎：A.構造と機能, B.分類と命名, C.ヒトの染色体地図, D.出生前診断
10. 染色体の検査法：A.細胞培養法, B.標本作製法, C.分染法, D.核型分析, E.蛍光 in situ ハイブリダイゼーション, F.検査機器
11. 染色体異常：A.染色体異常の種類と発生頻度, B.染色体異常症候群, C.腫瘍と染色体異常, D.環境変異原と染色体異常

◆学習方法

前期：各自の臨地実習の実施状況に合わせたグループ学習及び小テストを行う。
後期：出題基準に沿って教科書を中心にプリント、プロジェクター等を用いて講義形式で行う。

◆評価方法

前期の小試験、中間試験(授業内)、定期試験による総合評価。

◆教科書

臨床検査学講座 『血液検査学』 医歯薬出版(株)

◆参考書

臨床検査技師国家試験問題集 日本臨床検査学教育協議会編 医歯薬出版(株)
臨床検査技師国家試験ファースト・トレーニング 医歯薬出版(株)
臨床検査法提要 金井正光 編著 金原出版
血液カラーアトラス 寺田秀夫 監修 武藤化学(株)
血液細胞アトラス 日臨技 編集 日臨技出版

◆教員紹介

担当教員は病院での勤務経験に基づいて、臨床検査技師養成に向けた授業を展開する。

回数	項目	講義内容	担当
1	血液検査学基礎の復習	ヒトの造血と各血液細胞の役割	専任教員
2		血小板、各凝固因子、線溶因子の役割	
3	貧血の分類と検査所見	貧血の原因と臨床検査	〃
4		多血症の原因と臨床検査	
5	白血病と	白血病関連 FAB分類とWHO分類	〃
6	その他の造血器腫瘍	白血病とリンパ腫	
7	凝固・線溶関連検査	血小板数・血小板機能の異常・凝固異常	〃
8		一次線溶と二次線溶	
9	検査値と臨床での	フローサイトメトリーと細胞表面マーカー	〃
10	総合解釈	血液疾患における染色体・遺伝子分析	